

2012年3月期 第1四半期

(2011年4月1日～2011年6月30日)

決算補足資料

2011年7月29日
株式会社電通国際情報サービス

◆連結業績

単位:百万円

	2012年3月期 第1四半期	前年同期との比較		
		前年同期	増減額	増減率
売上高	12,866	12,376	+490	+4.0%
売上総利益	3,816	3,487	+329	+9.4%
売上総利益率	29.7%	28.2%	+1.5pts	—
販売費及び一般管理費	4,364	4,605	▲241	▲5.2%
営業損益	▲548	▲1,118	+570	—
営業外収益	120	91	+29	+31.9%
営業外費用	36	22	+14	+63.6%
経常損益	▲464	▲1,049	+585	—
特別利益	105	—	+105	—
特別損失	—	1,868	▲1,868	—
四半期純損益	▲158	▲2,111	+1,953	—

【売上】 金融、ならびに製造業の設計開発分野向けが好調に推移し、前年同期比増収
 【利益】 増収、ならびに売上総利益率向上により、売上総利益が増加
 販管費は、のれん償却費を中心に減少した結果、営業損益/経常損益ともに前年同期比改善
 また、前年同期に人員合理化施策関連費用等を特別損失に計上していたことから、
 四半期純損益は前年同期比大幅改善

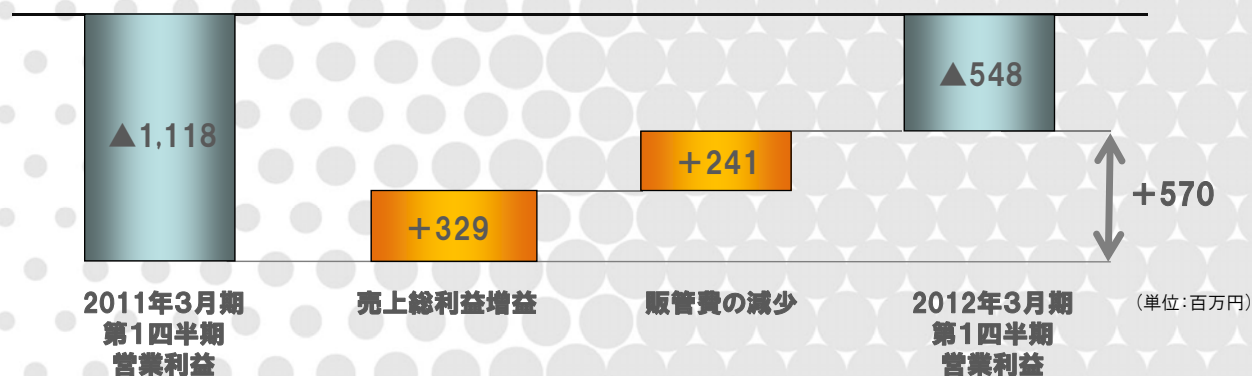
◆連結営業利益の増減要因

売上総利益の
主な増減要因

- ・受託システム開発の増収、ならびに粗利率向上効果(＋約1億円)
- ・ソフトウェア商品の増収、ならびに粗利率向上効果(＋約2.5億円)

販管費の
主な増減要因

- ・のれん償却費の減少(▲約1億円)
- ・技術者の非稼働費用の減少(▲約1億円)
- ・販管費中人件費の減少(▲約0.5億円)



COPYRIGHT 2011 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

◆事業セグメント別 連結売上高

単位:百万円

事業セグメント	2012年3月期 第1四半期	前年同期との比較		
		前年同期	増減額	増減率
金融ソリューション	4,131	3,688	+443	+12.0%
エンタープライズソリューション・ ビジネス系	2,628	2,679	▲51	▲1.9%
エンタープライズソリューション・ エンジニアリング系	4,070	3,628	+442	+12.2%
コミュニケーションIT	2,035	2,380	▲345	▲14.5%
合計	12,866	12,376	+490	+4.0%

【金融】
【ビジネス系】
【エンジニアリング系】
【コミュニケーションIT】

銀行、証券、損保、リース向け受託システム開発、銀行向け情報機器販売が拡大
会計系コンサルは拡大したものの、受託システム開発／ソフトウェア製品が伸び悩み
精密機器、自動車、造船業界等向けにCAD/CAE/DM/PLMのライセンス販売が拡大
電通グループ向けの受託システム開発、アウトソーシング・運用保守サービス、
情報機器販売が伸び悩み

◆サービス品目別 連結売上高

単位:百万円

	2012年3月期 第1四半期	前年同期比		
		前年同期	増減額	増減率
コンサルティングサービス	263	195	+68	+34.9%
受託システム開発	3,726	3,468	+258	+7.4%
ソフトウェア製品	1,559	1,813	▲254	▲14.0%
ソフトウェア商品	4,694	4,305	+389	+9.0%
アウトソーシング・運用保守サービス	1,126	1,237	▲111	▲9.0%
情報機器販売・その他	1,496	1,355	+141	+10.4%
合計	12,866	12,376	+490	+4.0%

【コンサルティング】 IFRS適用支援など会計分野のコンサルティングサービスが拡大
 【受託システム開発】 金融業向けを中心に増収
 【ソフトウェア製品】 人事管理システム「POSITIVE」は拡大するも、連結会計システム「STRAVIS」、
 銀行業向け「流動性管理システム」に大型案件の反動減があり、減収
 【ソフトウェア商品】 製造業向け設計支援ソフト(CAD/CAE/DM/PLM等)のライセンス販売が拡大
 【アウトソーシング・運用保守】 電通グループ向けが伸び悩み
 【情報機器販売・その他】 金融業向けが拡大

◆連結貸借対照表

単位:百万円

	2012年3月期 第1四半期末	2011年3月期末 (2011/3/31)	増減	主な増減要因(対前連結会計年度末)
流動資産	31,148	31,294	▲146	売掛債権の減少やたな卸資産等の増加
固定資産	18,296	18,276	+20	無形リース資産の増加や売却等による投資有価証券の減少
資産合計	49,445	49,570	▲125	
流動負債	14,337	14,321	+16	前受金の増加や買掛債務の減少、賞与支払による未払費用の減少及び納税による未払法人税等の減少
固定負債	2,682	2,375	+307	リース債務の増加
負債合計	17,019	16,696	+323	
純資産合計	32,425	32,873	▲448	四半期純損失の計上及び剰余金の配当による利益剰余金の減少
負債純資産合計	49,445	49,570	▲125	

◆受注・受注残

(単位:百万円)

事業セグメント別	受注高		受注残高	
	2012年3月期 第1四半期	前年同期比	2012年3月期 第1四半期	前年同期比
金融ソリューション	4,637	135.1%	3,644	150.3%
エンタープライズソリューション・ビジネス系	1,908	115.2%	1,782	100.6%
エンタープライズソリューション・エンジニアリング系	800	89.1%	445	56.8%
コミュニケーションIT	1,447	98.2%	945	121.2%
合計	8,795	117.9%	6,817	118.4%

(単位:百万円)

サービス品目別	受注高		受注残高	
	2012年3月期 第1四半期	前年同期比	2012年3月期 第1四半期	前年同期比
受託システム開発	6,382	125.4%	4,868	152.3%
ソフトウェア製品アドオン開発	747	100.7%	998	75.5%
ソフトウェア商品アドオン開発	1,665	102.3%	950	76.7%
合計	8,795	117.9%	6,817	118.4%

業績予想

✓2011年5月12日発表の業績予想から修正はありません。

◆2012年3月期業績予想＜連結＞

✓ 2011年5月12日発表の業績予想から修正はありません。

	(百万円)				(百万円)			
	12/3期 上期	11/3期 上期	増減額	増減率	12/3期 通期	11/3期 通期	増減額	増減率
売上高	29,194	28,878	+316	+1.1%	64,941	60,232	+4,709	+7.8%
営業損益	▲276	▲38	▲238	—	1,856	2,197	▲341	▲15.5%
経常損益	▲243	84	▲327	—	1,916	2,350	▲434	▲18.5%
当期純損益	▲21	▲1,547	+1,526	—	1,258	▲132	+1,390	—

◆事業セグメント別売上高予想＜連結＞

✓ 2011年5月12日発表の業績予想から修正はありません。

	(百万円)				(百万円)			
	12/3期 上期	11/3期 上期	増減額	増減率	12/3期 通期	11/3期 通期	増減額	増減率
金融ソリューションセグメント	8,202	8,575	▲373	▲4.3%	17,525	18,133	▲608	▲3.4%
エンタープライズソリューション・ ビジネス系セグメント	6,846	5,995	+851	+14.2%	15,641	12,651	+2,990	+23.6%
エンタープライズソリューション・ エンジニアリング系セグメント	8,557	8,945	▲388	▲4.3%	19,150	18,407	+743	+4.0%
コミュニケーションITセグメント	5,587	5,362	+225	+4.2%	12,623	11,039	+1,584	+14.3%
合計	29,194	28,878	+316	+1.1%	64,941	60,232	+4,709	+7.8%

◆サービス品目別売上高予想＜連結＞

✓ 2011年5月12日発表の業績予想から修正はありません。

(百万円)					(百万円)			
	12/3期 上期	前期との比較				12/3期 通期	前期との比較	
		11/3期 上期	増減額	増減率			11/3期 通期	増減額 増減率
コンサルティングサービス	1,153	721	+432	+59.9%		2,848	2,239	+609 +27.2%
受託システム開発	8,958	8,307	+651	+7.8%		19,688	17,639	+2,049 +11.6%
ソフトウェア製品	3,913	4,055	▲142	▲3.5%		9,050	8,915	+135 +1.5%
ソフトウェア商品	9,746	10,353	▲607	▲5.9%		22,243	20,298	+1,945 +9.6%
アウトソーシング・運用保守サービス	2,610	2,547	+63	+2.5%		5,439	5,204	+235 +4.5%
情報機器販売・その他	2,812	2,893	▲81	▲2.8%		5,672	5,935	▲263 ▲4.4%
合計	29,194	28,878	+316	+1.1%		64,941	60,232	+4,709 +7.8%

個別業績

◆個別業績

単位:百万円

	2012年3月期 第1四半期	前年同期との比較		
		前年同期	増減額	増減率
売上高	10,798	10,838	▲40	▲0.4%
売上総利益	3,056	2,881	+175	+6.1%
売上総利益率	28.3%	26.6%	+1.7pts	—
販売費及び一般管理費	3,696	4,049	▲353	▲8.7%
営業損益	▲640	▲1,168	+528	—
営業外収益	382	107	+275	+257.0%
営業外費用	5	15	▲10	▲66.7%
経常損益	▲262	▲1,076	+814	—
特別利益	105	3	+102	+3400.0%
特別損失	—	1,703	▲1,703	—
四半期純損益	125	▲1,938	+2,063	—

◆事業セグメント別 個別売上高

単位:百万円

	2012年3月期 第1四半期	前年同期との比較		
		前年同期	増減額	増減率
金融ソリューション	3,360	3,125	+235	+7.5%
エンタープライズソリューション・ ビジネス系	2,504	2,569	▲65	▲2.5%
エンタープライズソリューション・ エンジニアリング系	3,930	3,504	+426	+12.2%
コミュニケーションIT	1,002	1,639	▲637	▲38.9%
合計	10,798	10,838	▲40	▲0.4%

◆サービス品目別 個別売上高

単位:百万円

	2012年3月期 第1四半期	前年同期との比較		
		前年同期	増減額	増減率
コンサルティングサービス	201	148	+53	+35.8%
受託システム開発	3,035	2,902	+133	+4.6%
ソフトウェア製品	1,540	1,795	▲255	▲14.2%
ソフトウェア商品	4,527	4,193	+334	+8.0%
アウトソーシング・運用保守サービス	582	690	▲108	▲15.7%
情報機器販売・その他	910	1,108	▲198	▲17.9%
合計	10,798	10,838	▲40	▲0.4%

主要プレスリリース 2011/4/1～7/29

- ◆4/25 ISID、人事・給与・就業パッケージソフト「POSITIVE」の最新版を提供開始
～人材マネジメント機能を強化、IFRS関連帳票も追加～
- ◆4/27 ISID、ANAの次世代メッセージ通信システムを構築
～エアラインビジネスを支える新たな通信基盤を提供～
- ◆5/10 ISID、東光の次期グローバル会計システムを受注
～SAPクラウドサービス「BusinessACXEL for SAP ERP」により短期導入、グローバルビジネス強化を支援～
- ◆5/10 OKI とISID、海外進出製造業向けクラウドで業務提携
～化学物質情報システムをクラウドサービス「PLEXUS」上で提供～
- ◆5/11 ISID、ジェイアイエヌの次期経理システムを構築
～SAPクラウドサービス「BusinessACXEL for SAP ERP」により短期導入を実現、世界市場での成長戦略を支援～
- ◆5/27 ISID、主要金融機関による「決済制度改革に関する意見交換会」を開催
～新日銀ネットへの移行などに伴う金融業務対応に関する論点を公開～
- ◆6/1 ISID、アマゾン ウェブ サービス上でのSAP構築サービスを開始
～「CLOUDiS」のメニュー拡充、SAPユーザーのクラウド活用を支援～
- ◆6/2 ISID、投資信託の販売支援サービスをクラウドで提供開始
～業界初、地域金融機関と生活者のコミュニケーションを総合的に支援～
- ◆6/14 清水銀行の業務支援システムを刷新、情報の一元管理化を実現
～地域金融機関向け統合ソリューション「BANK・R(バンクアール)」の「営業支援」「電子稟議」「担保・保証管理」「顧客情報管理」システムを導入～
- ◆6/24 北都銀行、投信ネット販売にISIDのクラウドサービスを採用
～電通グループのトータルソリューションにより、多様化するお客様ニーズに対応～
- ◆6/24 ISID、ホシザキグループの人事給与とシェアードサービスの基盤システムを構築
～シェアードサービス部門の短期立ち上げをパッケージソフト「POSITIVE」で支援～
- ◆7/1 ISID、SAPデータ連携フレームワーク「BusinessSPECTRE」の最新版を提供開始
～クラウド連携を強化、テンプレートにグローバル機能を追加～

注) この資料に記載しております業績の予想数値は、業界の動向、顧客の状況、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により算出しております。従いまして、予想に内在する不確定要因や内外の状況変化等により、実際の業績は当該予想とは異なる場合がありますのでご承知おきください。